

聖徳大学／聖徳大学短期大学部
(C日程)

国 語

(注 意 事 項)

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 『国語』は第一問と第二問を解答してください。ただし、受験学科が文学部文学科の人は、第一問を必須、第二問（近代以降の文章）、第三問（古文）のうちいずれか1問を選択し、計2問を解答してください。
3. 試験開始の合図があったら、問題冊子1部、マーク式解答用紙1枚があるか確認してください。また、ページの欠落や乱れ、または印刷の不鮮明な箇所があれば監督者に申し出てください。
4. マーク式解答用紙は、両面になっています。赤い色の面のみを使用し、青い色の面（数学）は使用しませんので、何も記入しないでください。
5. 問題冊子の指定欄に受験番号、氏名を記入してください。マーク式解答用紙については、受験学科、コース、受験日、氏名、受験番号、解答科目、試験場を記入し、受験番号をていねいにマークしてください。
6. マーク式解答用紙の注意事項は、必ず読んでからマークしてください。
7. 解答には、HBまたはBの鉛筆（シャープペンシル可）を使用してください。
8. 志望する学部・学科の受験科目については、裏表紙に記載してありますので、必須科目及び選択科目を確認のうえ解答してください。学科により指定科目が異なりますので注意してください。

受 験 番 号								氏 名	
------------	--	--	--	--	--	--	--	-----	--

国語

必須問題

全員が解答すること。

第一問 次の文章を読み、後の設問（問一～問九）に答えよ。なお、漢字表記を一部変更した箇所がある。（解答はすべてマークシートに記入すること。）

(平川 克美「お金で買えないものはあるのか？」による)

問一 本文中の傍線部①～⑤に相当する漢字を含むものはどれか。最も適当なものを次の各群のA～Eの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は①〓1、②〓2、③〓3、④〓4、⑤〓5)

① ウンパン

A 百科事典をシュツパンする。

I 希望者に無料でハンブする。

U 会場に作品をハンニユウする。

㉞ タイゾウ

工 同一規格の部品をハンヨウする。
オ 出土品をイッパンに公開する。

ア 会議の途中でタイセキする。
イ 直近のタイオウ策を考える。
ウ タイソウ競技に参加する。
エ 彼女はニンタイ力がある。
オ タイカン式に招待される。

㉟ ソクシン

ア フソクの事態に備えて懐中電灯を買う。
イ 皇位継承に伴いソクイの礼が執り行われる。
ウ コロナウイルス感染症がシユウソクする。
エ テレビのニュースソクホウに驚く。
オ 「帰宅せよ」と矢のサイソクを受ける。

㊱ フカツ

ア 警視庁がカンカツする。
イ 自由をカツボウする。
ウ カットウを乗りこえる。
エ 旧制度がフツカツする。
オ 紙幅の都合でカツアイする。

㊦ チヨウコウ

- ア キョウコウな態度を変えない。
- イ 殖産コウギヨウに力を入れる。
- ウ オウコウ貴族として扱われる。
- エ 総理大臣コウホに上がる。
- オ 資料をコウモク別に整理する。

問二 本文中の傍線部A「分が悪い」の意味で最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 6)

- ア 不利である。
- イ しゃくにさわる。
- ウ 評価されない。
- エ 賛成されない。
- オ 無視される。

問三 本文中の傍線部B「

」について、筆者

はなぜ歴史上存在していないと考えるのか。その理由として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 7)

ア 物々交換は世界があまりにも広すぎるので、全体に行き渡ることが困難であり、世界のあちこちで断絶を

招いてしまうから。

イ 物々交換は貨幣と同じく等価交換であり負債解消の義務が生じないので、共同体全体に財が分配されないことがあるから。

ウ 物々交換は不等価な交換なのに、それぞれの価値を等しいとみなすので、一方に不公平感がつのり、共同体の維持が難しいから。

エ 物々交換は人や地域が限定的であり、それなりの大きな共同体になったとき、共同体全体をカバーするだけの種類や量がないから。

オ 物々交換は貨幣と同じく万能なツールだが、後から出てきた貨幣のほうが便利で価値が高いため、貨幣に取って代わられたから。

問四 本文中の傍線部C「

」について、そのように考えるのはなぜか。その理

由として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 8)

ア 原始古代の部族社会は未発達の段階にあるので、贈与交換を社会全体に行き渡らせて一定の水準にしておかないと、災厄に立ち向かえないから。

イ 部族社会での贈与交換や物々交換は構成員の権利であると同時に義務でもあるので、その義務を果たさないと部族社会から制裁を受けるから。

ウ 贈与物には必ず贈与霊(ハウ)が付いているので、自分だけため込んで分配しないと第三者から恨まれたり、嫌がらせを受けたりするから。

問七 本文中の傍線部E「

」とはどのような

なことか。その例として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は11)

ア 子育てにかかった手間や費用を、子どもが将来親に相応のお金を渡すことで、家族として対等な関係を維持していく。

イ 親が子どもを育てると、子育ての手間や費用を子どもは負債に思い、将来親に何らかの形で返すことで、その負債を返す。

ウ 親は自分の親の苦労を見てきたので、子どもには同じ負担をかけたくないと思い、子どもを独立させて自由にさせる。

エ 子育てにかかった手間や費用は兄弟姉妹によって異なるが、お金の換算することが難しいので、将来親の世話は平等にする。

オ 家族も共同体のひとつなので、子育ては当然親がすべきことであり、家族間では子どもがそれを負債に思わない。

問八 本文中の「貨幣」について、貨幣の特徴に当たらない例として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は12)

ア 貨幣交換は共同体を破壊、解体することがある。

イ 貨幣交換は「等価交換」であるとみなされる。

ウ 貨幣にもマオリ族の「ハウ」のような価値がある。

エ 貨幣は社会を物質的に発展させることができる。

オ 貨幣は「コールドマネー」とも言い、腐敗しない。

問九 本文の内容に合致する説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。

(解答番号は 13)

ア 人類社会は贈与交換という基盤の上に貨幣交換の仕組みが成り立っているので、貨幣交換が主流になると人類社会を維持することが難しくなる。

イ 貨幣は劣化することがなく、貨幣交換によって人類社会は無限に発展してゆくので、いずれ世界の「基盤的コミュニティ」は貨幣交換が中心となる。

ウ どの共同体の貨幣も等価性があるので、貨幣は異なる共同体と共同体とを結びつけ、新しい共同体を構築し、そこでも貨幣交換が重要な役割を果たすことになる。

エ コールドマネーとしての貨幣はひとびとから温もりを奪い、共同体を破壊するものなので、今後は贈与交換的な「基盤的コミュニティ」を復活させるべきである。

オ 人類社会には意外にも原始古代的な贈与交換のシステムが完備されているので、貨幣交換が入り込む余地はなく、共同体の解体には至らない。

選択問題

文学部文学科の受験者は、第二問（近代以降の文章）と第三問（古文）のうち、いずれか一問を選択して解答すること。文学部文学科以外の受験者は、第二問を解答すること。

第二問 次の文章を読み、後の設問（問一～問九）に答えよ。なお、問題文には設問の都合で省略した箇所がある。（解

答はすべてマークシートに記入すること。）

(内田樹『寝ながら学べる構造主義』による)

問一 本文中の傍線部①～⑤に相当する漢字はどれか。最も適当なものを次の各群のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は①＝14、②＝15、③＝16、④＝17、⑤＝18)

①カンパン

ア 船のカンパンに上る。

イ 雨でジバンがゆるんだ。

ウ 一宿イツパンの恩がある。

エ ハンザツな手続きで面倒だ。

オ これは油絵ではなくハンガである。

②キユウメイ

ア 大学でたくさんの知識をキユウシユウした。

イ カキユウの用事があるようであった。

ウ 人類進化についてケンキユウする。

エ 試験にしろうじてキユウダイした。

オ 利用者へのソキユウ力を高める。

㉔ホウカツ

ア 大声でイツカツした。

イ カツキ的な研究成果だ。

ウ カツカソウヨウの感がある。

エ 全体をガイカツ的に把握する。

オ 交渉がジュンカツに運ぶ。

㉕ブヨウ

ア ヨウジョウして長生きしてください。

イ 邦楽よりはヨウガクが好きである。

ウ この薬のコウヨウはすぐに現れる。

エ 昭和のカヨウ曲にあわせて歌う。

オ あまりの感激にヨウヤクした。

㉖コユウ

ア 生徒をコベツに指導する。

イ 過失ではなくコイである。

ウ 長年の御アイコに感謝します。

エ 子どもの頃のことをカイコする。

オ コケイ燃料ではなく天然ガスだ。

問二 本文中の空欄 ①・②・③ に入る語句は何か。その組み合わせとして最も適当なものを

次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 19)

- ア ① しかし ② さらに ③ そこで
イ ① そして ② ですが ③ 従って
ウ ① 一方 ② また ③ ですから
エ ① ところが ② それに ③ すなわち
オ ① ただし ② 加えて ③ そして

問三 本文中の空欄 X に入る語句は何か。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマ

ークせよ。(解答番号は 20)

- ア 連想 イ 制度 ウ 習慣 エ 記憶 オ 環境

問四 本文中の空欄 Y に入る語句は何か。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマ

ークせよ。(解答番号は 21)

- ア 自然的結びつき イ 機能的つながり ウ 自発的交わり
エ 従属的かわり オ 蓋然的きずな

問五 本文中の空欄 Z に入る語句は何か。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 22)

- ア でたらめさ イ あざとさ ウ よそよそしさ
エ あさはかさ オ なまなましさ

問六 本文中の傍線部 A

「とあるが、その趣旨に合致するものとして最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 23)

ア 「光」という語が「ピカリ」という擬音語・擬態語から出来上がったと考えられるように、言語における語の意味は、その成り立ちを考察することが可能である。

イ 古来ことばには「ことだま」が宿るとされてきたが、記号学者はそれに真つ向から反論し、シニフィアンとシニフィエとの間に生来的な結びつきがないことを実証した。

ウ 「犬」という文字が表す音とそれが表す動物とが組み合わせる本来的な理由はなく、その言語を用いるコミュニティにおいて恣意的に決められた組み合わせに過ぎない。

エ シニフィアンのありかたは言語共同体によって異なるため、トイレのドアに表示される「しるし」も多種多様であって、これをどう統一的に取り決めるかの議論が必要である。

オ 「しるし」と「意味されるもの」との間には、通常、本質的なかわり合いが認められるが、話し合いに基づいた取り決めさえ行われてしまえば、そのような関係性は必ずしも要らない。

問七 本文中の傍線部B「ラング」とあるが、「ラング」に当たらないものとして最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は24)

ア 東日本の多くの地域では、「雨」はアを高く発音する一方、「飴」はメを高く発音することで、両者が区別される。

イ 現代仮名遣いの助詞「は」「へ」「を」は、その表記にもかかわらず、それぞれ「わ」「え」「お」と発音上の違いがない。

ウ 「つら」という語は「つらを貸せ」のように限られた文脈で使われるが、古い日本語では「顔」を一般的に表す語として使われた。

エ かつて「背く」という語は「平家を背く」のように助詞「を」とともに使われたが、今では「平家に背く」のように助詞「に」とともに使われる。

オ 東北の人は「寡黙」な人が多いと言われることがあるが、実際には「多弁」な人も数多く存し、他地域の人々との間に有意な違いは見出されていない。

問八 本文から次の一文が省かれている。この文は、本文中の(Ⅰ)～(Ⅴ)のうち、どの箇所へ入るか。最も適当なものを後のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は25)

ア (Ⅰ) イ (Ⅱ) ウ (Ⅲ) エ (Ⅳ) オ (Ⅴ)

問九 本文の内容に合致しないものはどれか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は26)

- ア ラングは、文法書や辞書のように外から目に見える形に書き留められていて、人々にとって言語使用の規範となるべきものの集合体である。
- イ バルトは、ソシユールの提唱した記号学を応用し、かつては記号としてとらえられることのなかった現象をも記号学の対象とした。
- ウ スティルは、ラングが言語共同体内の社会的取り決めであるのに対し、言語にかかわる個人的感覚の多様性をとらえる概念である。
- エ ソシユールの考えでは、トイレの性別を示すシルエットや裁判所を表すてんびん、黒雲・稲妻のような自然現象は、記号に含まれない。
- オ 人の考え方や物事のとらえ方は、用いる言語によって異なっているので、人は無意識のうちに言語に縛られていると言える。

試験科目

	学 部	学科・コース	必須科目	選 択 科 目	
大 学	教育学部	児 童 学 科 教 育 学 科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。	
	心理・福祉学部	心 理 学 科 社 会 福 祉 学 科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。	
	文学部	文学科 教養デザインコース	-	選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。	
		文学科 国際文化コミュニケーションコース	「英語」	「国語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目選択。	
		文学科 日本語・日本文学コース	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目選択。	
		文学科 書道文化コース	「書道実技」	「国語」、「英語」から1科目選択。	
		文学科 歴史文化コース	-	選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。	
		文学科 図書館情報コース	-	選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。	
		人間栄養学部	人 間 栄 養 学 科	-	選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② 「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。 選択科目①と選択科目②の両方を選択し、受験する。
		看護学部	看 護 学 科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
	音楽学部	音 楽 学 科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。	
	短期大学	保 育 科	-	「国語」、「英語」から1科目選択。	
		綜 合 文 化 学 科	-	「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」から1科目選択。	